

2024年10月1日 第503号

# 憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター  
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)  
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

## 総がかり行動 臨時国会開会日行動に250人

軍拡・改憲すすめるウルトラタカ派の首相はいらない！

市民と野党は共闘！総選挙で自民党政治を終わらせよう！

総がかり行動実行委員会は10月1日昼、「看板のかけ替えで誤魔化すな！裏金・統一協会との癒着徹底究明！軍拡・改憲はストップ！総選挙で自民党政治を終わらせよう！10・1臨時国会開会日行動」を行い、250人が参加しました。社会民主党の福島瑞穂参議院議員、沖縄の風の高良鉄美参議院議員、日本共産党の田村智子参議院議員があいさつ。立憲民主党の小西洋之参議院議員のメッセージが紹介されました。

主催者あいさつした総がかり行動実行委員会共同代表の菱山南帆子さんは、「石破氏は、首相に指名される前から衆議院を9日解散、27日投票といい、政治の私物化もはなはだしい。石破氏はウルトラタカ派であり軍拡・改憲をすすめようとしている」と指摘。「私たちは今、戦争できる国の道なのか、平和の道なのか岐路にある。一緒にたたかわなければならない。野党がバラバラでは小選挙区では勝てない。市民と野党のつないだ手をはなさず、総選挙で自民党政治を終わらせるため力をあわせよう」と呼びかけました。



改憲問題法律家6団体連絡会の山添健之弁護士は、「安倍元首相が統一協会の幹部と面談していた写真が報道された。自民党総裁選に立候補した9人は、ニュース番組で『統一協会との問題について調査するか』と問われた時、誰も手をあげなかった。これが自民党の本質であることは明らか。石破氏は、アジア版NATO構想を言い、恣意的に9条違反であることを解釈で押し進めようとしている。総選挙で改憲をすすめる自公政権の交代を実現させよう」と訴えました。

マイナンバー制度反対連絡会の石川敏明事務局長は、「マイナ保健証が無ければ、医療が受けられないように宣伝されているが、マイナカードを作るのも任意であり、マイナ保険証を使うのも任意だ。このことを政府はきちんと知らせるべき。わざわざ私たちの税金を使って新しいものを作る必要はどこにもない。今からでも遅くはない。政府に対して保険証廃止を撤回し、今後も保険証を残すことを強く求めていこう」と呼びかけました。